昭和大学病院

クオリティインディケーター（QI）成果報告
〔リハビリテーション科〕

指標名

集中治療室におけるリハビリテーション実施率

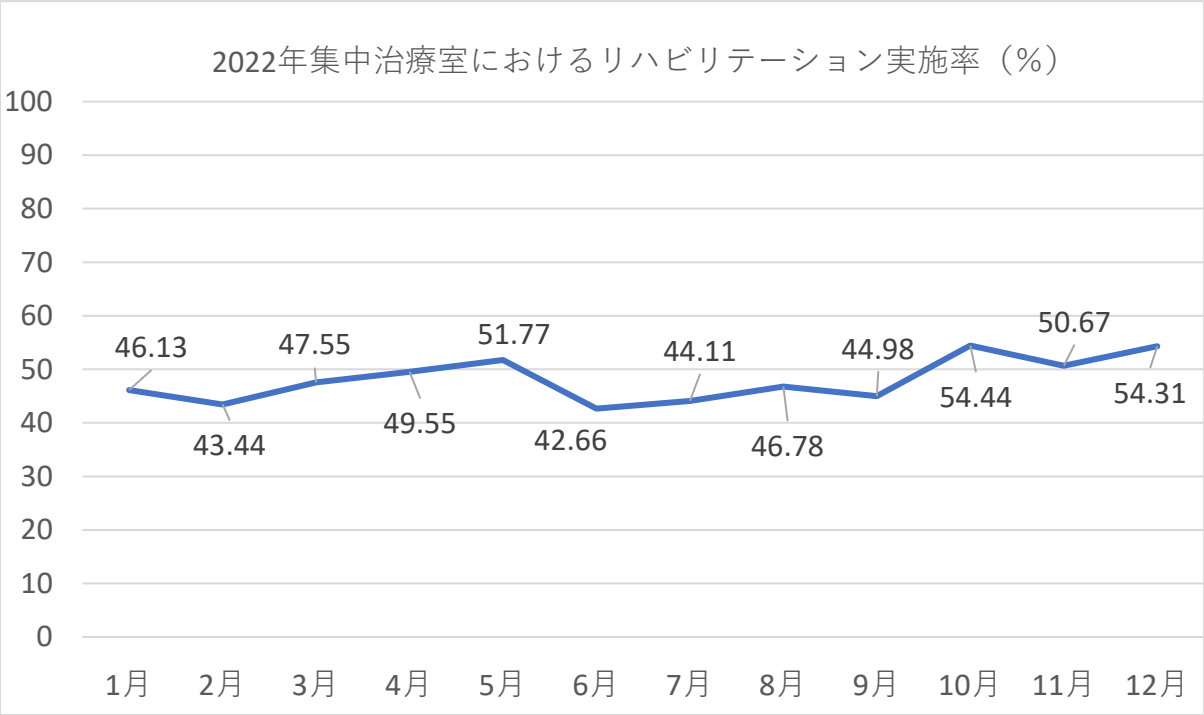
目標・ゴール

集中治療患者のリハビリテーション実施率の向上

目標・ゴール達成による効果

早期離床による重症患者在院日数短縮

目標・ゴールに対する成果の状況



早期離床リハ加算と疾患別リハは同時に算定はきないので、これらの合算が ICU で行われたリハの数になる。ICU の延べ患者数で割ることにより実施率を求めている。

実施率＝早期離床リハビリテーション加算算定件数+疾患別リハビリテーション算定人数／ICU 入院延べ数　で計算した。看護師もしくは PT/OT/ST のいずれかが介入したものが実施となる。

安定して約半数の患者に介入ができている。リハビリテーションを必要としない術後短期入室者の数を勘案すれば、早期加入による重症患者への貢献は高率と言える。

目標・ゴール達成度

※該当項目に☑をつけてください

☐S　:大幅に目標を上回った
☐A^{+}:目標を多少上回って達成
☑A　:目標を達成
☐B^{+}:目標を少し下回った
☐B　:目標を下回った
☐C　:目標を大幅に下回った
☐ー　:外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの課題・改善策

集中治療後症候群(PICS)の診断基準が曖昧であるため、発生頻度が確定できず、その発生低下が成しえたのかが評価困難である。ICU退室後のフォローを徹底して PICS の把握に努める。